

インフルエンザワクチンの接種を希望される方へ

1. インフルエンザワクチンはインフルエンザによる重篤な合併症や死亡を予防するためのワクチンです。
2. インフルエンザに対してワクチンで、重症化を予防することがインフルエンザに対抗する最高の手段です。
3. 特に高齢者や基礎疾患（心臓・肺・腎臓などの病気）がある方は重症化しやすいので、ワクチン接種をお奨めします。
4. インフルエンザワクチンでは、「かぜ」や「肺炎」を予防することはできません。
5. 強い卵アレルギーがある場合は、接種を避けるか注意して接種する必要があります。
6. ワクチン接種の効果（免疫）ができるまでに約2週間かかります。
7. インフルエンザワクチンは毎年、流行シーズン前（秋から初冬にかけて）の接種となります。
8. インフルエンザワクチンを他のワクチンと同時に接種することは可能です。ただし、その場合には医師に相談して、確認を取るようして下さい。
9. インフルエンザワクチン接種前に他のワクチンを接種していた場合、また、インフルエンザワクチン接種後に他のワクチンを接種する場合共に接種間隔が不要です。
10. 妊婦へのインフルエンザワクチン接種は、インフルエンザの予防に有効です。不活化ワクチンであるため、妊娠全期間を通して母体・胎児への危険性は低く、インフルエンザ流行時期に妊娠予定の女性への接種を推奨されています。

<インフルエンザワクチンを受けた後の注意点>

- ① 接種後30分以内に、まれに急な副反応が起こる場合があります。
- ② ワクチン接種後に、注射部位の腫れ、痛み、ときに軽い熱がみられることがあります。日常生活に差し支えるほどのものではありません。1~2日で消失します。
- ③ 接種当日、入浴できますが、注射部位をゴシゴシこすることはやめましょう。